

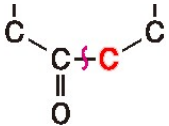
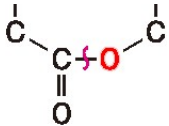


『大学入試問題集 坂田薫の有機化学ポラリス [2 発展レベル]』 正誤表

このたびは弊社刊『大学入試問題集 坂田薫の有機化学ポラリス [2 発展レベル]』第1刷（2023年10月20日発行）の記述につき誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

最終更新日：令和6年1月24日

ページ	箇所・行目	誤	正
19	解答 問5(2) C	$\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}-\text{CH}=\text{CH}_3$	$\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}_2$
23	❶（主鎖：C数4+ 側鎖C数1）図		
84	操作Ⅰの解説文	アミン(塩酸塩の状態)→ 水層Ⅰ(残り, 化合物Bの塩と決定)	アミン(塩酸塩の状態)→ 水層Ⅰ(この塩酸塩が化合物Bと決定)
	操作Ⅱ 囲み1行目	化合物Bを取り出す	アニリンを取り出す
	操作Ⅱ 囲み2行目	水層Ⅰ(アミンBの塩酸塩)に操作Ⅱ	水層Ⅰ(アミンの塩酸塩すなわち化合物B)に操作Ⅱ
	操作Ⅱの解説文 1行目	水層ⅠにはアミンBが溶解しています。	水層Ⅰにはアミンの塩酸塩(化合物B)が溶解しています。
	操作Ⅱの解説文 3行目	すると, 弱塩基遊離反応によりアミンBが遊離し	すると, 弱塩基遊離反応によりアミンが遊離し
	操作Ⅱの解説文 6行目	アニリン塩酸塩, 化合物Bはアニリンと決定できます。	アニリン塩酸塩で, これが化合物Bと決定できます。
88	1行目	化合物B(アニリン)に関する～	化合物B(アニリン塩酸塩)に関する～
	問3 解説文 1～2行目	アニリンは弱塩基性です(アンモニアよりも弱い塩基性で, リトマス紙での検出はできません)。	アニリン塩酸塩は「強酸と弱塩基からなる塩」なので, 水溶液は弱酸性です。
	上から12行目	①・③が正解です。	②・③が正解です。
90	解答 問3	①・③	②・③
93	環状エステルの図		

以上